

令和元年 7 月 18 日

#### 連 絡 先

三重県総合文化センター 三重県文化会館 事業課  
(担当者) 堤 佳奈  
(電 話) 059-233-1100  
(Fax) 059-233-1106  
(E-mail) tsutsumi@center-mie.or.jp

**新聞 3 社の連載コラムを手掛ける古典通・木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一さんと  
三重大学人文学部准教授の田中綾乃さんによる、楽しい古典レクチャー。**

## おしゃべり古典サロンとは

本企画は、講師の木ノ下裕一さんが主宰をつとめる木ノ下歌舞伎が、三重県文化会館にて、2015 年『黒塚』と 2017 年『心中天の網島』上演時に、三重大学人文学部准教授の田中綾乃さんを招いて事前の作品解説を行う関連企画として始まりました。過去 2 回とも大変反響が大きく、昨年度よりシリーズ化。毎回異なる古典作品を取り上げながら、古典を偏愛するお二人にその魅力を余すところなく語っていただく、サロンのような楽しいレクチャーです。昨年は三重を舞台としたご当地ものとして『伊勢音頭恋寝刃』、『伊賀越道中双六』を取り上げました。今年度は、木ノ下さんが主宰する木ノ下歌舞伎で前代未聞の 6 時間通し上演を実現した『東海道四谷怪談』をテーマに、有名な怪談譚の裏に隠れた作品の魅力を解説します。

### ■講師

#### 木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎主宰)

1985 年 7 月 4 日、和歌山市生まれ。小学校 3 年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。2006 年に古典演目上演の演出や補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『黒塚』『東海道四谷怪談-通し上演-』『心中天の網島』『義経千本桜-渡海屋・大物浦-』など。

2015 年に再演した『三人吉三』にて読売演劇大賞 2015 年上半期作品賞にノミネートされる。また、2016 年に上演した『勸進帳』の成果に対して、平成 28 年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。平成 29 年度芸術文化特別奨励制度奨励者。渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』(2018)の補綴を務めるなど、外部での古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。

#### 田中綾乃(三重大学人文学部准教授)

愛知県名古屋生まれ。東京女子大学文理学部哲学科卒業。同大学院 博士課程修了(人間文化科学博士)。専門は哲学、美学、演劇論。ドイツの哲学者カントの哲学研究を行う一方、長年の観劇歴から演劇批評に携わる。現代演劇の批評を中心にしながら、現在では歌舞伎や文楽の見どころ解説や劇評を新聞、雑誌などで担当中。

## ■vol.3 テーマ 『東海道四谷怪談』(とうかいどうよつやかいだん)

お岩さんの怪談譚”として、現代でも有名な『東海道四谷怪談』。しかし、本作は、当時の世相や市井の暮らしを活写した群像劇でもあるのです。お岩さんを取り巻く人々の、愛憎、欲望、復讐の数々……さながら“物語のデパート”ともいうべき、鬼才・鶴屋南北の傑作に、ディープに迫ります。

文政8年(1825年)7月、江戸・中村座で初演を迎えた『東海道四谷怪談』は大ヒットを記録します。毒薬を飲んだお岩が恐ろしい姿に変わる「髪梳きの場」などアツと驚く仕掛けが観客の心を掴んだのはもちろんのこと、『仮名手本忠臣蔵』と交互に上演する形式が注目を集めました。なぜ当時77年も前に生まれた赤穂浪士の討入劇『忠臣蔵』を同時上演したのか？表裏一体をなす、この2作上演に込められた鶴屋南北の野心とはいかに。

# イベント概要

## 1. 講座について

- (1)タイトル 知れば知るほどおもしろい！古典芸能を‘偏愛’する二人のトーク&レクチャー「おしゃべり古典サロン」
- (2)vol.3 テーマ 『東海道四谷怪談』(とうかいどうよつやかいだん)
- (3)日 程 令和元年9月22日(日曜日)14時～16時
- (4)場 所 三重県文化会館 小ホール(津市一身田上津部田 1234 三重県総合文化センター内)

## 2. 申込について

- (1)受講料 1,000円(当日受付支払い)
- (2)申 込 【WEB】三重県文化会館 WEB サイト申込フォーム <https://www.center-mie.or.jp/bunka/invite>  
【電話・窓口】三重県文化会館チケットカウンター059-233-1122  
(10時～19時／毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)休館)  
【Fax】059-233-1106  
【郵送】〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234 三重県文化会館 「おしゃべり古典サロン」係宛
- (3)申込開始日 令和元年7月13日(土曜日)

## 3. 主催・共催等

- (1)主 催 三重県文化会館
- (2)共 催 三重県生涯学習センター

## 4. イベントに関する問い合わせ先

三重県文化会館 電話:059-233-1100  
〒514-0061 津市一身田上津部田 1234(三重県総合文化センター内)

### 1. おしゃべり古典サロン WEB サイト

<https://www.center-mie.or.jp/event/detail/29922>

### 2. 添付資料:講座チラシ